

第7回リカジョ育成賞 -奨励賞-

テーマ	普通の中学校でできるリカジョ育成プラン～あこがれがリカジョを育てる～
受賞者名	網走市立第一中学校 主幹教諭 佐藤大志

活動紹介	<p>端的に言うと「女性研究者（リカジョ）としての生き方にあこがれをもてるかどうか」と考えている。</p> <p>古くは王貞治や長嶋茂雄、最近ではイチローや大谷翔平にあこがれて野球を始める子供は多い。女の子でも野球をやる子も多くなっている。女性研究者（リカジョ）も同じことが言える。女子生徒が女性研究者にあこがれを持てるようにすればよい。それが分かれば、やるべきことは明確だ。「女子生徒のあこがれとなるリカジョの生き方を見せる」ことである。</p> <p>本実践では、2つの取り組みを紹介している。</p> <p>1つは、K工業高等専門学校の女性研究者にインタビューを行い、「女性の活躍が必要だ」「工業という男性というイメージがあるが、女性ならではの視点が必要だ」「（女子生徒に）自分が本当に好きなことを仕事に選んでほしい。好きな仕事であれば、出産などの後にも続けようという意欲が出てくる」というメッセージをいただいた。そのメッセージを見た女子中学生は「女性研究者ってカッコイイ」という感想を持った。</p> <p>もう1つは、昨年ノーベル生理学賞を受賞したカトリン・カリコ氏の生き方を扱った道徳的授業である。カトリン・カリコ氏の生きざまを学習した女子中学生は、「とてもあこがれた」「尊敬している」などの感想が寄せられた。</p> <p>このような取り組みが、リカジョに対するあこがれを高めると考えており、これからも追及していきたい。</p>
PRメッセージ	<p>「アバイチのリカジョプランはどこの学校でも取り組めるよね」と言われるような実践を目指している。今後も普通の公立中学校でも無理なく取り組める実践を作り出していきたい。</p>

